

# 11 場所別の自殺の状況

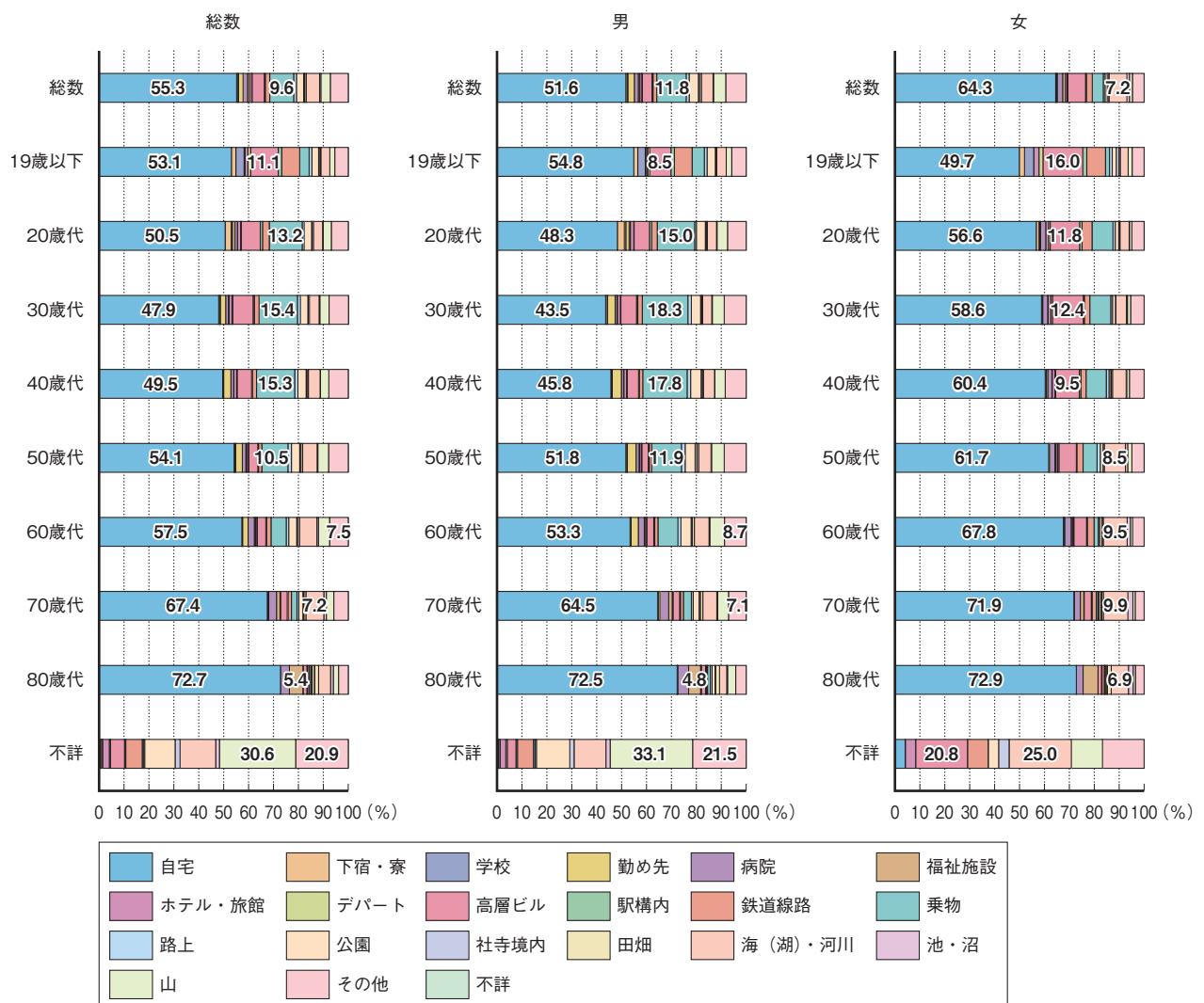
平成22年における場所別の自殺の状況について、自殺統計によれば(第1-35図)、「自宅」1万7,533人(55.3%)が最も多く、次いで、「乗物」3,031人(9.6%)、「海(湖)・河川」1,727人(5.4%)、「高層ビル」1,555人(4.9%)、「山」1,206人(3.8%)、の順となっている。

男女別にみると、男性については、「自宅」1万1,489人(51.6%)に次いで「乗物」2,621人(11.8%)、「山」1,097人(4.9%)となっている。

女性については、「自宅」6,044人(64.3%)

に次いで「海(湖)・河川」674人(7.2%)、「高層ビル」670人(7.1%)、の順となっている。年齢階級別にみると、男女とも全ての階級において「自宅」が最も多いが、男性については、「自宅」に次いで、19歳以下は「高層ビル」、20歳代～60歳代までは「乗物」、70歳代は「海(湖)・河川」、80歳以上は「福祉施設」となっている。女性については、「自宅」に次いで、50歳代以上は「海(湖)・河川」となっており、40歳代以下は「高層ビル」となっている。

第1-35図 平成22年における男女別・年齢階級別(10歳階級)・自殺の場所別の自殺者数の構成割合



資料：警察庁「自殺統計」より内閣府作成